2022年 2月号 No.506

生命の炎（いのち）

東京ふれあい医療生協
LINE公式アカウント 登録お願いします！
http://www.fureaico-op.info

生協の現況（2021年12月末日現在）
組合員数=16,983名　出資金総額=494,931千円

●発行所：東京ふれあい医療生活協同組合
〒114-0004 東京都北区堀船3-31-15
電話 (03)3911-3630
●編　集：『生命の炎』編集委員会　●発行人：百瀬 文也

2・3月号「おじゃましーす」特別企画

3・11を忘れない

今年3月で東日本大震災から11年が経過します。東京ふれあい医療生協の取り組む安心して暮らしていけるまちづくりのためにも、3・11当時のことを忘れずに、未来につなげていくことが大切です。今回は友誼生協でもあるきらり健康生協の橋本常務と当時同生協で専務理事をしていた当生協の福地常務理事から当時の状況についてお聞きし、私たちの生活する東京で備えるべきことについて考えたいと思います。

今日は当時福島で震災に遭われたお二人からお話をお伺いしたいと思います。

福地 よろしくお願いいたします。まず私から、当時どんな状況だったかをざっとですが話をして、そこに橋本常務から追加をしていただいて、地域の状況などをお伝えできればと思います。

東京ふれあい医療生協 福地 常務理事

【震災当時の状況について】

3・11はマグニチュード9・0でした。9・0となると7・0の1000倍というとんでもない力がかかります。日本は4つのプレートに乗っかっているので、地震は起きるべきして起きるのですが、それがグラグラっと、いっぺんに揺れたわけですね。福島市内は震度6弱。6弱でも神戸で起きた地震とはパターンが違い、神戸は直下型のためドーンと下からくるぞっと建物が潰れてしまうわけですが、福島の場合は、津波や予想していなかった原発事故による被害が発生しました。

一番言いたい部分ですが、原発事故について最初は全然情報が入りませんでした。当時の政府は、ただちに影響がない、と言ってたので結果的には騙し討ちのような状況となりました。当時、風向きの関係で、福島市が高線量の状態に陥っていましたが、そういった情報がきたのはだいたい3週間ぐらい経った後でしょうか。そんな中で原発の近くの村々からバスに乗って、6000人ぐらいの人が福島市内に避難してきたわけです。体育館とか、学習センターなどにほぼ雑魚寝状態で、しかもバスに乗せられた人は、着の身着のままできてますので、入れ歯がない方もいらっしゃった。そして我々はまだ原発が爆発して福島が高線量地域という情報も入っていないですから、確か16日だったと思いますが、医療グループで避難所に支援に入りました。最高のマイクロシーベルト。福島市が出した資料がありますけど、1番数値が高い時でした。そのような状況で医療活動を継続してきましたが、やはり職員の中には退職して県外へ避難する方も出ていました。それだけ当時は大変な状況にありました。

次に橋本さんよりお願いいたします。

橋本 きらり健康生協の橋本です。よろしくお願いします。

きらり健康生協 橋本 常務理事

【地震の概要】

東日本大震災は地震、津波、原発事故の3つの災害の複合災害でした。福地さんの話にもありましたが、東日本大震災はマグニチュード9・0、福島市の最大深度は6弱。揺れは最大深度7で宮城県が一番揺れたことになります。持続時間は160秒～170秒も続きました。余震回数はマグニチュード5以上が869回もありました。津波は14時49分に大津波警報が発令され、岩手から段々と南の方に波が押し寄せてきました。船が陸に押し上げられて、逆に車が陸に流されているという光景もありました。

内閣府HPより

【原発事故について】

3月11日の段階では原発事故の情報はほとんど入ってきていませんでした。また混乱で情報を得る余裕もなかったので、完全に取り残されているような状態でした。12日の午後15時36分に福島原発の1号機が水素爆発を起こしたとの報道があり、そこで初めて危機感を感じ始めました。そして14日には3号機が爆発し、15日には2号機と4号機で衝撃音がなるなど、大きな被害になっていきました。その後、福島県内では原発は大きな問題として取り上げられ、私達としても様々な不安を抱えながら今に至ります。県外に避難した人もいれば、福島から出られずに不安を抱えている人もいます。そんな方たちに私達はどのように寄り添ったらいいか。それを課題にしながら活動をしてきました。地震や津波は自然災害ですが、原発問題に関しては原発「事故」と言われています。事故であれば、被害者と加害者がおり、賠償問題も発生します。しかしながら、東電や国が加害者であるにも関わらず、加利用委員から「夜間の診療について」以下の提案があり話し合いました。皆さんからも意見をお寄せください。

提案 「患者数の統計資料をみると夜間の利用者が少ない。一方で日中は患者さんがあふれていて待ち時間も長い。北区荒川区ともに夜間に救急対応できる病院はあるので外来の経営が厳しい状況が続いており、医師・スタッフ確保等も考慮し夜間の診療を見直し日中の診療を増やしたらどうか？」

出された意見

●以前は、梶原診療所は「いつでも安心をめざし24時間365日体制を目指していた。診療枠を縮小することには抵抗があったが経営が厳しくなる中で利用者がほとんどいなくなった当直をやめてその分日中の単位を増やしたり日曜診療を廃止したりしてきた経過はある。

●勤めている時は、仕事を終えて帰ってからもかかれるので夜間診療は勤めている人にはありがたい。9時までではなく7時か8時に短縮するのはいいのでは。

●8時以降は利用者数も少なくスタッフ内でも夜間時間の短縮について提案があったが、勤務体制の問題等あり話が立ち消えになった。

●以前に比べ都心のビル診も増えて勤めの人は会社の近くのクリニックにいくようになった。診療所の夜間来院者も近くに職場のある人も多い。退職後は地元の医療機関に転院している。夜間診療の需要は以前に比べ少なくなった。

聴診器コラム

2011年3月11日の昼下がり、想像を超えた地震の揺れを仙台市内の自宅で経験しました。火事場の馬鹿力とはこのこと、急いで水を汲み、貴重品や衣類を手当り次第車に詰め込んで勤務先の病院へ向かいました。津波や火災の被害はなく、被災地とは言いにくい地域。それでも、1日2個のおにぎり、1人10点までの小売店の列、数週間ぶりの入浴、高度医療機関にも関わらず最低限の治療に早急に切り替えた医療、の状況でした。

看護師としてみなさんに伝えたいことは、方が一を考え、内服中の処方薬を5～7日分程度多めに持つこと（常に最新の処方分を残す、薬剤変更時には医師に相談を）、病名・通院状況を知る手がかりとなるお薬手帳を一緒にしておく、電力に依存する医療機器や代用のきかない医療材料・介護食品などはどうするか考えておくことです。また、みなさんのお身体・住宅環境で、実際にどこまでどうやって避難できるか、どういった助けが必要で、誰が助けてくれそうか、の想定も必要です。

日頃の備えが命を救い、日々の安心にもつながります。

訪問診療室　看護師　青木

梶原診療所 利用委員会 掲示板 虹の声

健康づくり委員会 掲示板

幸福寿命

人生100年時代、最後まで元気に暮らしたいというのは皆様の望みだと思います。そのため、生活習慣を見直し、「健康寿命」を延ばそうと提唱されています。しかしながら、はたして健康だけで人は「幸せ」でしょうか？

「健康寿命」を延ばすことはあくまでも「幸せ」になるための手段だと思います。人は幸せの為に生きているのではないでしょうか？今日は楽しかった、また明日も頑張ろう。となるように、今年は「健康寿命」を意識した活動を行いながら「幸福寿命」を延ばすような活動も組合員さんと共に考えて活動していきたいと思います。　（一石健

2021年度 理事会 から

1. 経営状況

2021年度11月	総収益	1億3,041万円
	経常利益	1,469万円
2021年度4月～11月累計	総収益	9億6,351万円
	総利益	6,423万円

11月も順調に推移しています。累積欠損も1,974万円まで減少しました。

2. 生協強化月間

2021年10月より同年12月5日まで実施
子育て教室オンライン開催、ふれあい健康マルシェ、組織拡大訪問行動、健康チャレンジ、健康づくり講座などを実施。コロナ禍ではありますが、活動再開のきっかけとなるつながりづくりとなりました。地域からは、「人と会いたい」「話がしたい」「動きたい」といった声が聞かれ、コロナ禍で社会参加の希望が強くなっていると感じました。東京ふれあい医療生協として感染予防に気を付けながらもつながりを大切にできる取り組みを今後も継続していきます。

地域紹介のコーナー No 001 地域紹介

このコーナーでは東京ふれあい医療生協にかかわる様々な団体、個人をPRし私たちのまちを盛り上げるコーナーです。
初回は梶原診療所のある梶原商店街より、「菓匠 明美」さんです。

東京の下町を通る都電荒川線「梶原」電停前、梶原銀座商店会入口の都電もなか本舗「菓匠 明美」でございます。おかげさまで、ここ梶原の地で昭和32年に開業してから、今年で創業65年目を迎えました。地域内外のお客様に支えられ、育てて頂きました事、ひとえに感謝申し上げます。

落ち着いた風情の店内では、看板商品の「都電もなか」をはじめ、新商品の「王子界隈 栄一翁散歩もなか」や朝生の餅菓子から焼き菓子・上生菓子まで四季を通じて常時30種類以上の和菓子をご用意しております。ご予約・配送等も承っております。お気軽にお問い合わせください。

皆様のお越しを従業員一同心よりお待ちしております。

組織部移転のお知らせ

2021年12月23日をもって下記住所に移転いたしました。組合員の皆様に寄り添う組織部、頼れる組織部、すぐやる組織部を目指し心機一転頑張ってまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

新住所
〒114-0004 東京都北区堀船3丁目27-12
（旧梶原銀座商店街沿いの事務所です）

ご意見・ご質問・紹介したい記事などございましたらお気軽にお寄せください。

宛先　東京ふれあい医療生活協同組合 機関紙編集委員会
〒114-0004　北区堀船3-30-16
TEL 03-3911-2005　FAX 03-5944-6015
MAIL soshiki@fureaico-op.com

ワード等で作成したデータをメールで送っていただいても構いません。その際は右記メールアドレスまでお送りください。

切　前月の第1月曜日まで。
（4月号に掲載したい場合、3月の第1月曜日までに原稿を送ってください。）
※必ず原稿を送る方の名前、住所、連絡の取りやすい電話番号を記載してください。